

資金協力事業/開発課題別の指標例（水産分野）

開発戦略目標(*1)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例		指標作成方針・方法	国名	案件名	評価年度
1. 水産資源の有効利用（安定した食糧供給）	1-1 漁業生産量の増大	1-1-2 適切な漁業技術の普及	かつお竿釣漁船、漁業訓練指導船、船外機修理用機材等	運用指標	基本 漁船の月平均稼働率	(各指標の設定の方法、計算基準や設定に当たっての留意点などを記載する。)	ソロモン諸島	国内かつお・まぐろ類漁業基盤修復計画	2009年
				効果指標	基本 漁獲取扱量の増加 補助 動力ピログ船の登録数の増加		パナマ	小規模漁業開発計画	2007年
	1-4 水産加工・流通の改善と漁業基盤整備	1-4-1 漁獲物処理・鮮度保持技術の向上	衛生検査ラボ	運用指標	基本 衛生検査ラボにおける衛生検査実施数 総合的な衛生管理システムであるHACCPのワークショップの開催数 検査パラメータ数 取扱サンプル数（検体数/年）		アンティグア・バーブーダ	水産センター建設計画	2009年
				効果指標	基本 食品衛生管理システムに関する検定であるHACCPコースの検定合格者数		セントビンセント	キングスタウン魚市場改修計画	2008年
				運用指標	基本 小売りブースの利用率		セネガル	国立水産物分析所建設計画	2022年
				効果指標	基本 （違法）露店販売行為の減少 鮮度劣化による棄却魚の減少 鮮度販売衛生状況の改善		ギニア	コナクリ市ケニアン魚市場建設計画	2007年

資金協力事業/開発課題別の指標例（水産分野）

開発戦略目標(*1)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例		指標作成方針・方法	国名	案件名	評価年度
			冷凍庫・冷蔵庫	運用指標	基本 保蔵量 施設利用者数		ギニア	コナクリ市ケニア ン魚市場建設計画	2007年
				効果指標	基本 鮮度劣化による棄却魚の減少 閑漁期における水産物の安定供給		モザンビーク	マプト漁港改修計 画（第2期）	2005年
1. 水産資源の有効 利用（安定した食糧 供給）	1-4 水産加工・ 流通の改善と漁業 基盤整備	1-4-1 漁獲物処理・鮮 度保持技術の向 上	製氷・貯氷施設	運用指標	基本 製氷機の稼働率（氷生産量） 補助 非常用発電機の累積稼働時間		セントビンセント	キングスタウン魚 市場改修計画	2008年
				効果指標	基本 鮮魚取扱量の増加 冷凍魚の内陸部への流通量 生鮮魚の輸出量 補助 氷の価格の低下 漁港での氷販売量		セントルシア	ビューフォート水 産複合施設建設計 画	2005年
				効果指標	基本 鮮魚取扱量の増加 冷凍魚の内陸部への流通量 生鮮魚の輸出量 補助 氷の価格の低下 漁港での氷販売量		カーボヴェルデ	プライア漁港拡張 計画（第2期）	2007年
		運用指標	基本 水産加工量	ニカラグア	サン・ファン・デ ル・スル漁業施設 整備計画		2010年		
		効果指標	基本 漁獲後の損失・投棄量の低減 水産加工品の流通量（販売）の増加 補助 水産加工品の品目・種別の増加 水産加工品の品質の向上	アンティグア・バー ブーダ	水産センター建設 計画		2009年		
		効果指標	基本 漁獲後の損失・投棄量の低減 水産加工品の流通量（販売）の増加 補助 水産加工品の品目・種別の増加 水産加工品の品質の向上	タンザニア	ムワンザ市キルン バ魚市場建設計画		2003年		

資金協力事業/開発課題別の指標例（水産分野）

開発戦略目標(*1)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例		指標作成方針・方法	国名	案件名	評価年度	
1. 水産資源の有効利用（安定した食糧供給）	1-4 水産加工・流通の改善と漁業基盤整備	1-4-3 漁港・魚市場等流通施設の整備	防波堤	運用指標	基本 港内水域の静穏度（港内波高0.3m以下の延べ日数）	セントルシア トーゴ	セントルシア	沿岸漁業振興計画	2006年	
				効果指標	基本 荒天による漁船被害の減少 港内における作業可能日の増加（波浪による作業影響の緩和） 泊地利用零細漁船数 漁港と商港の分離による零細漁船の安全性向上 漁港内の混雑解消				2016年	
			水揚棧橋	運用指標	基本 棧橋利用漁船の隻数 棧橋充足率（利用漁船実数/計画隻数）		セントルシア	沿岸漁業振興計画	2006年	
				効果指標	基本 既存棧橋における混雑率の緩和 水揚げ所要時間の減少 補助 零細漁船の水揚げ労働者数の減少（水揚げ効率の改善を間接的に把握する指標）					
			浚渫の実施、航路標識の設置等	運用指標	基本 浚渫量 浚渫回数 寄港する船舶数の増加 大型定期船の稼働率の向上		パラオ	ペリリュー州北港整備計画	2010年	
				効果指標	基本 水揚げ作業量の増加 漁船沖合待ち時間の解消 大型定期船満載時の航路運行可能日数 大型定期船の航路の所要通過時間の短縮					
1. 水産資源の有効利用（安定した食糧供給）	1-4 水産加工・流通の改善と漁業基盤整備	1-4-3 漁港・魚市場等流通施設の整備	水産複合施設（貯蔵施設、管理室、加工・荷捌場、小売市場、会議室等）の整備、水産センターの施設の改修・整備	運用指標	基本 施設利用者数 登録漁民数 漁船登録数 漁業者数 補助 漁民ロッカーの使用率 企業漁船数の増加	カーボヴェルデ ベナン サモア コートジボワール	ブライア漁港拡張計画（第2期）	2007年		
				効果指標	基本 漁獲取扱量の増加 漁業生産額（*産出額）*2015年より名称変更。内容に変更はなく両者の時系列比較に問題はない（平成30年農林水産省統計年報）。 運営収入（施設使用料収入、氷販売額） 荷捌き作業時間の短縮 降雨による魚市場の中断及び閉鎖日数の減少 補助 水産物輸入量の減少 FRP（繊維強化プラスチック）漁船の増加（船型別の操業漁船数（単位：隻/年））			産出額＝魚種別生産量×魚種別価格	2009年	
									アピア漁港改善計画	2010年
									ササンドラ市商業地帯開発のための船着場整備及び中央市場建設計画	2016年

資金協力事業/開発課題別の指標例（水産分野）

開発戦略目標(*1)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例		指標作成方針・方法	国名	案件名	評価年度
2. 水産資源の保全管理	2-1 水産資源評価	2-1-1 資源調査体制の確立	調査船の供与	運用指標	基本 調査船の年平均航海数/年間調査航海日数（日/年） 音響調査機器の活用度合 浮魚資源 4周波音響調査距離（海里/年） 底魚資源 深海トロール回数（回/年）		セネガル	漁業調査船建造計画	2006年
				効果指標	基本 漁業統計の整備 資源評価報告書の更新（年1回）を行った魚種数（※対象魚種は地域に応じて設定） 海洋環境図（水温/塩分/クロロフィル等の分布図）の作成数		モロッコ	漁業調査船建造計画	2005年
		2-1-3 行政及び漁民の資源管理に対する意識の向上	漁業管理訓練施設の建設（漁業管理所、情報資料室を含む）、訓練用機材及びワークトップ用機材などの関連機材の整備	運用指標	基本 漁業管理政府職員に対して行った訓練者数 当該訓練施設での訓練修了者数 当該訓練施設での訓練実施日数 提供可能な訓練コースの種類		モーリシャス	零細漁業管理訓練施設改善計画	2008年
				効果指標	基本 ラグーン内漁業を行っている漁民がラグーン外漁業に転換した人数		モーリタニア	水産職業訓練センター施設整備計画	2021年
	2-4 種苗生産・放流	2-4-1 栽培漁業技術の確立	養殖の研究・技術開発を行うための施設・機材の整備	運用指標	基本 研究機材の稼働率		ベトナム	ニャチャン海洋養殖開発研究センター建設計画	2007年
				効果指標	基本 飼育親魚数 飼育稚魚数 孵化率の向上 生存率の向上				
3. 漁民・漁村の貧困削減（活力ある漁村の振興）	3-1 漁業収入の増大	3-1-1 漁獲量の増大	零細漁業施設の建設（魚市場・製氷施設・漁具倉庫・保安照明設備の建設、製氷機・貯氷庫・発電機等の機材供与）	運用指標	基本 魚市場の利用率 製氷施設の利用率 発電機の稼働率		カーボヴェルデ	ブライア漁港拡張計画（第2期）	2007年
				効果指標	基本 漁獲取扱量の増加 漁民の収入増		カメルーン	零細漁業センター整備計画	2004年

開発戦略目標(*1)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例		指標作成方針・方法	国名	案件名	評価年度
3. 漁民・漁村の貧困削減（活力ある漁村の振興）	3-1 漁業収入の増大	3-1-2 漁獲物価格の適正化・価値の向上	水揚げ・流通施設及び漁業者活動支援施設の整備、調整保管の改善	効果指標	基本 効率的で衛生的かつ公正な魚の取引（セリ）が可能となることによる魚価の向上 漁民の収入増		セントルシア	ビューフォート水産複合施設建設計画	1997年
		3-1-3 漁業経費の削減	防波堤、沿岸漁船用岸壁の建設及び、海水ポンプ、保安及びタワー照明機材の供与	運用指標	基本 零細漁船による漁港の利用率		モロッコ	シディハセイン零細漁村開発計画（第1期、第2期）	2002年
	3-2 収入源の多角化	3-2-1 水産養殖による収入の増大	養殖の研究・技術開発を行うための施設・機材の整備	効果指標	基本 船体修繕費の減少 船体修繕費の減少による漁業収入の増大 漁民の収入増		ガーナ	セコンディ漁港建設計画	2006年
				効果指標	基本 漁民の収入増		ベトナム	ニャチャン海洋養殖開発研究センター建設計画	2002年
4. キャパシティ・デベロップメント	4-1 水産行政	4-1-1 水産行政官の能力向上	漁業管理訓練施設の建設（漁業管理所、情報資料室を含む）、訓練用機材及びワークトップ用機材などの関連機材の整備	運用指標	基本 漁業管理政府職員に対して行った訓練者数		モーリシャス	零細漁業管理訓練施設改善計画	2007年

(*1) 該当しない中間目標、サブ目標は除外している。

【参考】

- 国連SDG指標：14.4.1 生物学的に持続可能なレベルの水産資源の割合
- 国連SDG指標：14.7.1 小島嶼開発途上国、後発開発途上国及び全ての国々のGDPに占める持続可能な漁業の割合
- 国連SDG指標：14.a.1 総研究予算額に占める海洋技術分野に割り当てられた研究予算の割合
- 国連SDG指標：14.b.1 小規模・零細漁業のためのアクセス権を認識し保護する法令/規制/政策/制度枠組みの導入状況

【参考】

日本政府SDGs実施指針指標：SDGsへの貢献を明確化して形成された新規案件の数

【参考】

JICA第4期中期目標の指標：食料安全保障に資する水産資源の利用に係る支援の実施状況
 （栄養状況の改善に資する、分野横断的かつ民間の活力も活用した支援の実施状況）→※SDGsのゴール2であり水産関連（ゴール14）ではないが内水面養殖等を通じた持続可能な蛋白質摂取による栄養改善と深い関係があるため掲載。